

はと 鳩の峰

No. 56
2020
7.1

令和2年7月1日



主な内容

振興会総会	2P
下田南バイパス	2P
善意のマスク	2P
春季例大祭	2P
中止行事	2P
連載	3P
一斉清掃	3P
ご挨拶	4P
水天宮・八坂神社	4P
うちの家族	4P
編集後記	4P

誰もいない静かな高浜港

5月の連休中の高浜港の風景です。人っ子一人いない静かな様子でした。

緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染防止のため、釣り・レジャー等を控えていた頃です。地域・近隣の方たちが、適正に対処して頂いたものと考えます。

終息後の高浜港・白鶴浜ひいては社会が、もとの賑やかさを取り戻せる様に願ってやみません。

令和2年度 高浜地区

振興会総会

総会書面議決

振興会会長 田中 光徳



説明をする田中会長

今年の総会は全国的にコロナウィルスの影響で、社会に影響を与える事態となりました。私たちの振興会もいろいろと検討した結果、皆さんが密にならないために、書面議決という初めての試みで総会を実施しました。

会長、副会長、議長、議事録署名人が今後の行事の検討をいたしまして、コロナの影響を考えると、8月までの行事は中止するということで、総会は無事に終了しました。皆様にはご心配おかけしますが、終息の際にはご協力よろしく願います。

国道389号道路改良事業 (下田南バイパス)

下田北から下田南までの区間で、バイパス(下田南バイパス)の改良事業が進められています。

写真は鬼海ヶ浦トンネルを抜けて高浜方面に向かった様子です。完成まではまだまだ先のことで、交通の利便性が向上することとは良いことです。楽しみにしています。

工事の早期完成と工事関係者の方たちの安全を願っています。



笠松から見える小田床

善意のマスク



実習生9名のみなさん

4月に、高浜の株式会社ヒゴ garments様より、布マスクが届きました。

ヒゴ garmentsに勤務されているベトナム実習生の製作で色は白、黒、黄など、柄物もあり、通気性、肌ざわりもいと好評でした。

お近くの郵便局やコンビニにも配布され、地域の皆様からも、喜ばれていました。実習生9名のみならず、大変ありがとうございました。心より、お礼申し上げます。

高浜八幡宮春季例大祭

各迫の代表者の皆さんが、神事前に、八幡宮の内、外(周囲)を隈無く清掃していました。

清々しい心持ちになった所で神主さん親子による神事が厳かに執り行われました。



神事の様子

中止行事

球技大会 ・ ボランティア作業
虫追い祭 ・ 精霊流し

止む無く中止を決定しましたので、ご理解とご協力をお願いします。

連載

その⑬

京都府立大学 文学部 歴史学科 東 昇

江戸時代の疱瘡流行

① 山小屋への隔離

今年は新型コロナウイルスの流行に全世界が巻き込まれ、社会に大きな影響を与える深刻な事態となりました。実は約210年前の1807年、ここ高浜でもコロナと同じ感染症の疱瘡が大流行しました。疱瘡とは、現在は天然痘と呼ばれ、1980年世界から撲滅された唯一の感染症です。水疱瘡と似た症状ですが、致死率が20～50%もあり、幕末に種痘が普及するまで、最も恐れられていました。1807年の流行は、上田宜珍の日記で詳しく様子が分かります。11月28日漁師慶助の葬儀に参列した人々が、12月12日一度に20人感染しました。前日から額に物ができており、疱瘡に罹ったことがある親類や村で確認して疱瘡と断定したのです。村は14日に現在の隔離病舎である「山小屋」をに設置し、病人と看病人を山入りさせます。15日には病人は40人を超え、16日に大江へ往診していた医者宮田を呼び戻し、薬を持たせて山小屋へ派遣しました。

② 医者宮田の活躍

宮田は、病人を重症者と軽症者に分類し、犀角を薬として使い、また狭い小屋には道具が多く、寝る場所が1メートル程しかないという手書に書いています。その上、冬なので寒く昼夜の薪、酒や食料の不足、雨が降ると笠もないので薬を取りに行くこともできないと、現場の切実な状況を訴えています。

その後、看病人と病人家の留守番130人、山小屋への食料・物資輸送30人、リーダーの山見ケメが派遣され、救済体制が整っていきます。疱瘡発生から1ヶ月後、病人80人、死者16人、看病人120人、除小屋101人と300人を超える大集団となりました。この「除小屋」は、感染の疑いがあるが発病していない家族（濃厚接触者）を収容する施設です。宜珍は総人数から考えると死者が少ないと役所へ報告しており、迅速な隔離、山小屋の設置、医者の派遣が効果を上げたといえます。活躍した医者宮田の墓は今も高浜に残っています。

③ 支援物資と祈祷

年末から翌年にかけて、村内外からの支援物資も届きます。村内からは、各迫で唐芋と薪を、個人は

銭や大麦、米、味噌、塩など食料を中心に、村外では、大江・今富・小田床の村中、大庄屋、庄屋などから物資が送られました。一方で、疱瘡病人のいる迫の葬儀に参列しない、自分の迫には埋葬させないなど、疱瘡を忌避する行動もみられます。

また八幡宮における昼夜の祈祷と各迫々の祓い、おこもり、加えて五島の神島宮から神主を招き疱瘡退散祈祷を行います。七日七夜の祈祷のあと、村全体を祈祷行列が練り歩き、潮ふりやドラによる祓いや、各家に祈祷札を貼っていきましました。村中を回った後、白楽瀬において病送りをを行い、疱瘡を村外に送り出す病送船を漁船に積み、沖合一里先で流し、病を送り出しました。以降、神島祭は毎年実施され、神島宮も村に勧請されます。

このように、210年前の高浜では、疱瘡流行に対し山小屋隔離、医者の派遣という科学的な措置に加えて、神への祈祷などの精神的な対応が行われており、両社により村の危機を乗り越えたといえます。

一斉清掃

梅雨入り前の6月7日、一斉清掃が実施されました。各地区ごとに、早朝よりご協力いただき大変お疲れさまでした。



温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動
に有効に活用させていただきます。

香典返し

清水 保邦様

(故・清水 満義様)白木

ふるさと応援寄付金

大塚 利恵子様(千葉県)

西岡 智彦様(東京都)

脇田 美徳様(福岡県)

一言メッセージ

「故郷の発展を

祈念します。」

高浜地区

(令和2年5月29日現在)

人口 1,050人

男 486人

女 564人

世帯数 587戸

高齢化率(65歳以上)
579人(55.1%)

ご挨拶

天草小学校 校長
中村 理恵



昨年度末の定期異動で、新和
中学校から参り
ました中村理恵
です。大変お世
話になります。

4月9日に、10名の新入生を迎え
て、天草小学校全児童68名、職員15
名で令和2年度がスタートしまし
た。次への成長を目指し張り切っ
てスタートしたところでしたが、新
型コロナウィルス感染拡大予防のた
め、5月末まで臨時休校となり、子
どもたちも保護者の皆様にとつて
も寂しく不安な日々を過ごすこと
となりました。

そんな中、学校では、子どもたち
を励ますことはできないかと登校
日を設けながら、学習指導教材や絵
本の読み聞かせ、歌声指導等を含め
たDVDを作成する、教室環境、校
舎外の環境を整える等、地域の方々
にもお世話になりながら再開に向
けてできることを行ってきました。
6月いよいよ学校が再開活気が
もどってきました。学校の教育目標
は「学習したことを生活にいかす力
の育成」です。学校で学んだことが
実生活にいきてはたらく力を保護
者、地域の皆様と力を合わせて取り
組んでまいりたいと思います。
皆様、どうぞ、よろしく願いま
す。

水天宮・八坂神社の祭り

6月7日、水天宮・八坂神社の
祭りは八幡宮例大祭同様に神事
のみの開催でした。



水天宮社



八坂神社神事・玉串づくり

うちの家族

ペット

名前は「ロック」で2013年6
月9日生まれの7才のオスです。
ドッグフードより・・・が大好
きです。
(元向 山崎 有記さん)



編集後記

2020年も後半に入りました。
7月から、レジ袋有料化がスタート
します。皆さんも、お気に入りの買
い物バッグを準備して、お出かけす
るのもいいですね。私も、食料品用、
衣類用と分けて使うようにしてい
ます。マイバッグ・マイボトルを
持ってレジ袋を削減しましょう。
また暑い夏がやってきます。こまめ
な水分補給を心がけて、できるだけ
涼やかにすごされますように。